

**製品名: MLKL ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21172**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	MLKL
別名	MLKL;Mixed lineage kinase domain-like protein
遺伝子 ID	197259.0
SwissProt ID	Q8NB16
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

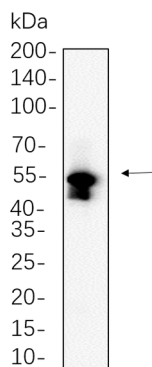
細胞局在: 細胞質。この遺伝子はタンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。コードされるタンパク質はタンパク質キナーゼ

様ドメインを含むが、活性に必要ないくつかの残基を欠失しているため、不活性であると考えられている。このタンパク質は、ネクロプトーシス経路の重要なシグナル伝達分子である受容体相互作用タンパク質3 (RIP3) との相互作用を介して、腫瘍壊死因子 (TNF) 誘導性ネクロプトーシス (プログラム細胞死プロセス) において重要な役割を果たす。この遺伝子の阻害剤研究およびノックダウンにより、TNF 誘導性ネクローシスが阻害された。このタンパク質および RIP3 の高レベルは、小児の炎症性腸疾患と関連している。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを MLKL ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。